

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

July / 8 / 2016 # 40

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『すてきなイベント』

[2] Pepeのひとりごと

『言葉』

[3] おすすめ動画

『The World Trombone Quartet/Duo on Sarah's Horn Hangouts』

『Devil's Waltz Steven Verhelst』

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー Part 1』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『すてきなイベント』

今年、5月末から6月初めにかけて、アメリカでITEA(International Tuba Euphonium Association)とITA(International Trombone Association)の大会、フェスティバルがそれぞれ行われました。

僕はどちらにも参加できませんでしたが、どちらもとても興味深いイベントだったようです。

このような大会では、世界中で大活躍をしているプレイヤーたちの演奏を生で聴け、マスタークラスを受講、聴講でき、またこれからどんどん伸びてくるであろう才能ある若い世代のプレイヤーたちの演奏に触れることのできる、とても貴重な機会を共有することができます。

僕も過去に何回もこのようなイベントに参加して、今のミュージシャンシップを築いてきました。

今は、日本からの参加者もたくさん増えてきて頼もしく感じています。そのイベントで得た経験をぜひこれからの活動にしっかり活かしていてもらいたいと強く思います。

(これ、頭で考えるのは簡単なことなのですが、実際にやるのはとても難しいことだと思っています)

[2] Pepeのひとりごと

『言葉』

自分の発する言葉は、いろいろなところで自分の生き方に影響してくると僕は思っています。

僕が日頃から気をつけていることの一つとして、「難しい (Difficult)」という言葉を使わない、ということがあります。

もう何年前からやっているのかもわかりませんが、今では気にすることなく、この言葉を使わないで過ごすことが「普通」になっています (笑)。

しかし、世の中簡単なことばかりではないですよねえ。

もちろん僕にとってもそうですよ。 :)

そういうときには「Not Easy (簡単ではない)」という言葉を使っています。

違い、わかりますか??

ある楽譜を見て「難しい!」と思ってから練習し始めるのと、「簡単じゃないなあ」と思ってから練習し始めるのとでは、大きな違いが出てくると僕は信じています。

興味を持った人は、ぜひ試してみてくださいね~! :D

[3] おすすめ動画

『The World Trombone Quartet/Duo on Sarah's Horn Hangouts』

<https://www.youtube.com/watch?v=5PeNQKyjknE&feature=em-uploademail>

今月一つ目の動画は、「旬な話題、気になる話題」で書いたITFのイベントの中で行われた、ベルリン・フィルのホルン奏者Sarah Willis氏の行っている「Horn Hangouts」というプロジェクトとのコラボで行われたThe World Trombone Quartetのメンバー、Joe Alessi氏とJorgen van Rijen氏とのインタビュー&The World Trombone Quartetの演奏です。

The World Trombone Quartetのメンバーのうち2人は助っ人なのですが、上手な人が集まると、なんでもできるものですよ（笑）。

ああ、僕もアンサンブルやりたいなあ〜。 :)

『Devil's Waltz Steven Verhelst』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=XBMInZd5GUQ&index=1&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

[v=XBMInZd5GUQ&index=1&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=XBMInZd5GUQ&index=1&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

2つ目の動画は、Tromboneのデュオを。

もう世界中で有名になった曲、S.Verhelst作曲の「Devil's Waltz」の動画です。演奏している人は全く知らない人たちなのですが（笑）、上手ですよ！ :)

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー Part 1』

リップスラー、金管楽器の基礎練習で必ずと言っていいほど聞く言葉ですね。

とっても大切なことの一つです。

しかしこのリップスラー、有名なだけあって（笑）捉え方もいくつもあり、その機能も様々だと僕は感じています。

一番よく出会うことが、「リップスラーはなめらかに」ということ。

確かにそうです。 :)

しかし、これは楽器を初めて間もない人にとってはとても難しいことなんです。

「リップスラーはなめらかにやりましょう」ということは、僕はレッスンで教える（教わる）ことではないと思っています。

レッスンでやるべきことは、どのようにすればなめらかに演奏できるのか、どのようにすることによってなめらかに聴こえてくるのか、だと僕は思っています。

よく見かける現象として、なめらかにやろうとするあまり、音と音の変わり目が曖昧（あいまい）になってしまっている状態があります。そして、「このような吹き方をするとなめらかに聴こえる」と思っている人が多いのも現実だと感じています。

リップスラーは、音の変わり目を曖昧にして演奏するものではありません。

自分がそのような演奏をしてしまっているのかがわからない人は、ゆっくりなテンポでタイミングを見計らってリップスラーで音を変えてみてください。

（例えば、テンポ50くらいでメトロノームが鳴るタイミングで音を変えてみてください。そのときに、音の変わる前後に音程が変わってしまったり音圧や音量が変わったり不安定になってしまう人は、リップスラーをもう一度見直していったほうがいい可能性が高いと思われます）

音の変わり目が曖昧だということは、色で言うと2つの違う色かにじんできているということです。

なめらかに音が変わるということは、色がにじむことなく、またグラデーションになるでもなく、2つの違う色が、段差などなくきれいにくっついているという状態のことだと思います。

なめらかなリップスラーでも、音の変わり目、変わった瞬間がはっきりと分かるようにやってみてください。

もちろん、全く簡単ではありませんよ。
でも、必ずできるようになります！

次号では、Part 2として、リップスラーの練習のやり方について書いてみようと思っています。:)

編集後記

今月号は、なんと40号！
なんとか40回続いています。:)
購読してくださっている方々、本当にありがとうございます。

質問のメールなどもたまに頂いています。
みなさん、何かあれば気軽に連絡してきてくださいね。
できる範囲で協力させていただきます！:D

(スケジュールがキツイ時は少し待ってもらったりしていますが、必ず返信しています)

これからも50号、60号へ向けてコツコツと進んでいこうと思っ
ています。

それにしても、暑い日が続いていますねえ(涙)。
熱中症に気をつけながら、毎日を精力的に過ごしていきましょう~!!

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ!

info@pepeabe.com